※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	(学)ものづくりの基礎	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

専用のテキストを使用して進める。
自作プリントや ICT 機器を活用して学習させる。
溶接作業についての安全、健康、知識を身に付けてください。
遅刻や欠席、授業を受ける態度等日々の学習を大切にしましょう。

2　学習の到達目標

特定化学物質及びアルキル鉛等を理解できるようにする。
安全作業、健康管理について知識を深めることができる。
専門用語の意味を知り覚えることができる。
将来の資格取得や業務に生かすことができる。
(1) 特定化学物質及びアルキル鉛等に関する幅広い知識を習得するとともに，関連する 技術を身に付けるようにする。
(2) 特定化学物質及びアルキル鉛等の技術に関する課題を発見し，技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。
(3) 特定化学物質及びアルキル鉛等の学習を通して、技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	専門的な知識・技能を繰り返し記憶、練習し習得する。興味・関心を持ち続けて知識、技能の向上を図る。	主体的・対話的で深い学びが可能なように ICT 機器、記述式問題等を使用して生徒が思考力、判断力、表現力を養えるようにする。自主的に考え、判断して話せるようにする。	粘り強い取組みの中、自らの学習を適切に調整しながら、学ぶようにする。 繰り返し学ぶことによって内容を定着させる。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	職務と責任	○作業主任者の職務 ○労働衛生の3管理 ○特定化学物質及びアルキル鉛等の種類と業務	a:専門用語の意味を記憶する b:的確に使用できる c:正しく理解する	行動の観察と確認	記述の点検	コミュニケーション能力の確認
	健康障害	○労働衛生管理 ○障害の災害事例、原因と防止対策 ○症状 ○健康管理	a:災害事例、危険行為について知識を深める b:健康管理できる c:健康診断および事後処置について理解する	行動の観察と確	記述の点検	コミュニケーション能力の確認
	改善方法	○危険有害性 ○作業環境管理の工学的対策 ○局所排気	a:ガス、蒸気、粉じん、ヒュームの意味を覚える b:工学的作業環境対策について考えを深める c:有害化学物質消費量の抑制を理解する	行動の観察と確	記述の点検	コミュニケーション能力の確認
後期	労働衛生保護具	○呼吸用保護具の種類と防護係数 ○防じんマスク ○防毒マスク ○送気マスク	a:呼吸用保護具の種類を記憶する b:防じん、防毒、送気マスク等の使用方法を知る c:労働衛生保護具について理解する	行動の観察と確	記述の点検	コミュニケーション能力の確認
	関係法令	○法令の意義 ○労働安全衛生法のあらまし ○特定化学物質障害予防規則のあらまし	a:法律、政令、省令について内容を記憶する b:製造許可、免許等についての内容を覚える c:関係法令、予防規則を理解する	行動の観察と確	記述の点検	コミュニケーション能力の確認
	参考資料	○化学防護手袋の選択、使用等について ○金属アーク溶接等作業について	a:特定化学物質障害予防規則の内容を知る b:呼吸用保護具について考える c:溶接ヒュームの濃度の測定の方法を理解する	行動の観察と確	記述の点検	コミュニケーション能力の確認

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度